

2019年度 日田市施政方針

「平成」から  
新たな時代へ

～みんなが安心して暮らせる持続可能な日田市へ～



でに全ての復旧工事が完了する見込みです。国や県の災害復旧事業のうち、小野地区の大規模崩落現場及び県道宝珠山日田線は、本年5月の完成を目指して工事が進められています。また、小野川については改良復旧工事と合わせて、流木を止める流木捕捉工の検討が進められ、大肥川については改良復旧に向けて地元関係者等との協議が進められています。

「次の災害に備える」取組では、迅速かつ確実に防災情報を伝えるため、280MHz帯防災行政無線システムの導入に向け、現在実施設計を行っています。2019年度から送信局や受信局の整備、市内全世帯への戸別受信機の配備を進めます。また、モデルとなる自主防災組織に対して避難訓練等の活動を支援し、地域防災の要となる防災士の養成や防災士同士の連携を図る組織づくりなどを進めていきます。

日田市を創生する取組

人口が減少し続ける中、「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って「子育て支援、担い手の確保・育成、産業の振興、福祉の充実」などの取組を進めていきます。このほか、移住者の増加と若者の定住につなげる取組、子育て環境の充実と支援、JRR日田駅周辺の環境整備、学校教育の充実などにも引き続き取り組ま

す。

日田市の創生を著実に進めるための「第6次日田市総合計画」に示す6つのまちづくり大綱に沿って、各種施策を展開していきます。



まちづくりの大綱の推進

② 福祉 住む安心を高める

新たな子育て支援事業計画の策定に取り組むとともに、子育て期の経済的支援を充実させるほか、幼児教育の無償化へ円滑に移行できる体制づくりに取り組みます。また、障がい者の自立や社会参加の推進の施策の充実に取り組みます。



① 市民協働 きずなを強める

住民自治組織の運営や設立に対する支援を行います。また、移住・定住の支援については、首都圏等での移住フェアなど、積極的な情報発信に努めるとともに、若者の結婚に対する経済的な支援を行い、定住を促進します。



④ 生活基盤 安全で快適に暮らす



地域高規格道路中津日田道路の早期の整備促進に向け、国や県への働きかけを行います。水道事業は、会所山配水池の更新のための調査に着手するとともに、老朽化が進む水道管の更新に取り組ま

③ 産業振興 やりがいと魅力をつくる



各産業分野の人材育成や確保に努めるとともに、小・中・高校生が勤労観や職業観に触れるキャリア教育にも取り組みます。また、インバウンド対策として、ラグビーワールドカップ2019の開催を観光誘客の好機と捉え、情報発信に努めます。

⑥ 環境 水と緑を宝にする

汚水処理人口の普及率の向上を図るため、合併処理浄化槽に転換する場合の補助対象を充実し、更なる促進を目指すとともに、将来にわたって良好な水環境を維持できるよう、河川の水質の監視・保全に努めます。



⑤ 教育・文化 学ぶ楽しさを増やす

地域人材を活用した中学生学びアップ事業を継続して開催するとともに、学習活動の充実を図るため、各小中学校にタブレット端末等の整備を行います。また、国際合同キャンプを開催し、スポーツを通じた地域の活性化を目指します。



市政執行の基本方針

本市では「子育て支援等の人口減少対策、地域を支える人材の確保・育成」を大きな課題と考え、地方創生に積極的に取り組んでまいりました。これまでの取組によって、市の支援策を活用した移住者数が2年連続で県内1位となったほか、新たな公共の考えに基づく「住民自治組織」が中津江地区で立ち上がり、新たな地域づくりの第一歩を踏み出したところです。また、平成24年に続き、平成29年7月九州北部豪雨災害からの速やかな復旧も大きな課題であり「日田市復旧・復興推進計画」に基づいた取組を行ってきました。

本年5月に新たな元号に変わり、新しい時代の幕開けにおいて「速やかな復旧・復興」と「日田市の創生」に全力で取り組み、将来にわたって、安心して暮らしていける持続可能なまちづくりを進めていきます。

第1回日田市議会定例会で原田啓介市長から施政方針が発表されました。2019年度市政執行の方針から抜粋して、まちの目指すべき方向性と取組をお伝えします。

地方創生推進課創生企画係  
☎8223 (市役所6階)

復旧・復興の取組

九州北部豪雨災害から1年9か月が経過し、被災された皆様の一日でも早い生活再建が重要です。生活再建の取組では、これまでみなし仮設住宅等に同居する人で、市営住宅等に同居を希望される人には市営住宅を提供し、夜明・大鶴地区で地域内移転を希望される人には、夜明地区に市営住宅の建設を行っています。この市営住宅については、本年7月末までに完成する見込みです。なお、みなし仮設住宅等に仮住まいされている皆様の住宅再建については、引き続き各種事業を進めていきます。

農業関係の復旧では、被災した農地と周辺農地を一体的に整備する大区画化や水田の畑地化などの創造的復興に取り組んでいるところがあります。また、林業関係の復旧では、広葉樹による自然植生への回復を図る流木被害対策にも取り組んでいます。また、市の道路や河川等の復旧では、2019年度末

